

平成 30 年度文部科学省委託事業

「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」

1. 地域活動による高齢者支援・介護支援の学習プログラムの研究開発事業

この研究は、地域経済の活性化、地域の活力の再生を図るため、専修学校が「地域との交流を通じて、地域の課題を認識し、活性化に向けた立案づくりから実施まで」を行うことで、学生の主体的な学びを育む教育としての学習プログラムの研究し開発することを目的に、平成 30 年 11 月に研究がスタートした。研究は 3 か年計画であり、取り敢えず、大きく分けて二つの取組に分けられる。1 つは「専門学校を中心に地域活性化を実証的に行ってみる」（地域活性化推進）研究であり、2 つ目は、「学習プログラム開発」研究である。

2. 地域活性化推進研究では、3 校のモデル校を中心に

地域コミュニティの活性化を図るモデル校として、次の 3 校にモデル校として協力をいただいた。

- ・北海道福祉教育専門学校（北海道 室蘭市）
- ・関東福祉千門学校（埼玉県 鴻巣市）
- ・YMCA 健康福祉専門学校（神奈川県 厚木市）

各モデル校では、まずは推進組織を創るべく、地方公共団体（市役所の福祉部等）への協力の依頼、さらに社会福祉協議会、地域包括支援センター、民生委員、自治会の役員などに参加していただき「地域会議」を開催することから始められた。次の段階としては、地域の状況を考慮し、モデル校の特徴を生かした地域課題を共有し、地域活動の対象地域及び活動内容を決定して、次年度は具体的な活動を展開する予定である。なお、モデル校は既にそれぞれのやり方でその地域との共同の活動を展開しており、研究のための委員会ではこの情報交換なども活発に行われた。

以下、モデル校 3 校の取組みの一部を紹介する